

ニュージーランド・テカポの現状

桑田直宏

2023年6月に仕事でお客様とニュージーランドに行ってきました。2014年のゴールデンウィークに福原さんと遠征したコースとほぼ同じです。南島観光のゴールデンコースです。

2023年6月21日～26日4泊6日の日程で、現地は冬の季節だった。地図では南島は南緯42～45度と、日本ではちょうど北海道と同じ緯度なので、冬はかなり寒いような印象となるが、意外と暖かく、標高700mにあるテカポでも山に雪は少しある程度だった。



テカポ湖

到着した日まで現地はずっと雨で、天気予報では絶望的だったのだが、クライストチャーチから離れ、テカポに行く途中から雲が切れ始め、その後もずっといい天気に恵まれた。現地の天気予報は当てにならないこと、テカポはよく晴れるという評判は今回も通用したことになる。

福原さんが心配され、皆様も関心があるのは、テカポの環境(光害)はどうかということだと思う。今回9年ぶりにテカポを訪れたわけだが、宿泊は100キロ先のマウントクックだったので、テカポは昼間に散策しただけになった。印象的には確実に店や宿泊施設が増加しているようである。8年前の宿泊したコテージも近くまで行ってみた。



8年前に利用したコテージ



大きな望遠鏡施設が出来ている

安心できそうなのは、世界有数の星空観光地になったテカポは、2012年に星空の保護活動を行っている「国際ダークスカイ協会」により、最も美しい星空に贈られる「ゴールドティア」に認定されたとのこと。「ゴールドティア」は世界に3か所しかない特別な星空だそうだ。

どこに泊まるかが問題なのだが、前回と同じコテージが私のお勧め。理由は前に道路を挟んで広大な湖が広がっていること。さらにコテージに芝生の庭があって、セッティングした赤道儀を昼間もそのまま放置できること。ただし南側にはコテージと丘が広がり、たくさんの建物があるので、完全な暗闇とはならないのが残念なところである。理想の星空の撮影となると車で郊外に移動となるが、そんなに遠くへかなくても満足できる観測地はいっぱいあった。

太陽活動が2025年も活発なことからオーロラも期待されるが、ニュージーランドのオーロラは地平線近くに出現するため、撮影するならテカポ湖を車で移動することになる。本当はマウントジョンの山頂が最高なのだが、ここは立ち入り禁止になっている。



宿泊施設の庭から南の星空撮影